

定例会 実施報告書

報告日 令和7年 4月 22日 火曜日

実施日	令和元7年 4月 22日 火曜日 天気 晴						
月例幹事	山本 愛子	小山久仁子	前川千恵子	城森幸雄			
地域／場所	神奈川藤沢市・辻堂						
テーマ	学ぼう！藤沢浮世絵館＆遊行寺						
参加人員	当日参加者数	25名	募集時参加人員数	30名			
距離・時間	距離コース内	歩数	ウォーキング	集合	9時	1分	
	約 5.2 km	約 1200 万歩	歩行時間	解散	12時	50分	
《感想・特記事項など》							
※小田急線「藤沢」駅9:00集合 事前欠席者2名 当日欠席者3名（連絡なし）参加者25名							
【遊行寺】は通称で、正式には時宗じしゅう総本山・藤沢山とうたくさん清淨光寺しょうじょうこうじといいます。時宗を開いたのは鎌倉仏教の始祖の一人、一遍いっぺんです。遊行寺は一遍が創建したお寺ではありませんが、全国の時宗の寺院を束ねる総本山で、代々の遊行上人ゆきょうしょうにんが拠点とした寺ということから、遊行寺といわれます。							
【藤沢浮世絵館】浮世絵は、人々の暮らしや世相を描く絵画作品であり、江戸時代の庶民文化として発展しました。さらに、19世紀末には、ゴッホなどに代表されるヨーロッパの画家たちに大きな影響を与え、世界中から注目される美術品もあります。藤沢の地は、江戸時代には東海道藤沢宿がおかれて、時宗総本山清淨光寺（遊行寺）が立地し、信仰・行楽の地であった江の島や大山（雨降山）への参詣道の入口として、名所や伝説に根ざした多くの浮世絵が描かれたところです。							
1班	城森幸雄・吉江俊幸・縄島スミ子・大西恵子・森田美代子・田中久雄・國分好子						
2班	山本愛子・瀬戸千秋・松澤鷺郎・阿部清一・小野孝二						
3班	小山久仁子・中川眞幸・岩宮政治・成嶋ちえこ・伊藤忠志・田島容子						
4班	前川千恵子・岡部光太郎・土門幸平・齋藤東三・山田秀昭・菅原千恵子・田中 恵・米森通子						
5班							



2025/4月度 あすなろ大学 ウォーキングクラブ定例会

学ぼう！



藤沢浮世絵館と遊行寺で

日時： 令和7年4月22日火曜日

集合場所：小田急藤沢駅改札出口付近 トイレは改札出口手前

※注意：下車後、電車進行して同じ方向に歩いて下さい。

集合時間：9:00 時間厳守！持ち物：飲み物・保健証

コース：藤沢駅→遊行寺→藤沢駅→（東海道線）→辻堂駅

「遊行寺」で約40分ほど見学します。

辻堂駅北口から徒歩10分「藤沢浮世絵館」

「藤澤浮世絵会館」で約40分間ほど鑑賞します。

※「藤澤浮世絵会館」見学後、辻堂駅前にて解散予定しています。

「遊行寺」



時宗開祖の一派上人より数えて4代目の香海上人開山の時宗総本山です。藤沢山無量光院清淨光寺が正式な寺名ですが、香海上人が正中2年（1325）に廃寺を再建して遊行引退後の住まいとし、歴代の上人も遊行引退後に住むようになったので「遊行寺」と呼ばれるようになりました。現在の建物の大部分は関東大震災後に復興されたものですが、中雀門は唯一、江戸時代からのもので向唐門造りになっています。また、菊の御門と三葉葵が刻まれています。延文元年（1356）の銘を持つ梵鐘は県指定重要文化財です。

「藤澤浮世絵館」

浮世絵は、人々の暮らしや世相を描く絵画作品であり、江戸時代の庶民文化展しました。さらに、19世紀末には、ゴッホなどに代表されるヨーロッパの画家たちに大きな影響を与え、世界中から注目される美術品もあります。藤沢の地は、江戸時代には東海道藤沢宿がおかれ、また時宗総本山清淨光寺（遊行寺）が立地し、信仰・行楽の地であった江の島や大山（雨降山）への参詣道の入口として、名所や伝説に根ざした多くの浮世絵が描かれたところです。



<幹事> 山本愛子 小山久仁子 大塚勝江 前川千恵子 城森幸雄